

会議録

会議の名称	平成24年度第2回西東京市保健福祉審議会
開催日時	平成24年7月26日（木曜日） 午後7時00分から午後8時00分まで
開催場所	西東京市役所 保谷庁舎 防災センター 6階 講座室2
出席者	委員：須加委員（会長）、熊田委員（副会長）、石田委員、坂元委員、清水委員、鈴木委員、新倉委員、早川委員、綿委員 （欠席者）阿委員 事務局：福祉部長、市民部長、生活福祉課長、福祉部主幹（生活福祉課）、高齢者支援課長、高齢者支援課介護保険担当課長、障害福祉課長、障害福祉課（主幹）、健康課長、生活福祉課調整係長、生活福祉課調整係主事
議題	1 諮問事項に係る答申書（案）について 諮問事項「第3期西東京市地域福祉計画を策定するにあたっての基本的な考え方について」 2 その他
会議資料の名称	資料1 平成24年度第1回保健福祉審議会会議録（案） 資料2 答申書（案） 参考資料 平成23年度第1回保健福祉審議会会議録 参考資料 平成23年度第2回保健福祉審議会会議録
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>事務局： 本日は、平成24年度第2回西東京市保健福祉審議会に出席いただき、感謝申し上げます。</p> <p>事務局： 人事異動に伴う事務局（市民部）職員の紹介</p> <p>事務局： 配付資料の確認</p> <p><u>会議録の確認</u></p> <p>事務局： 事前に修正の意見をいただいている。 4ページ目の下から4行目に「このような活動をする人が3つ重なっている人は<u>いない</u>」とあったのを「このような活動をする人で3つ重なっている人は<u>少なくない</u>」に修正し、次の行の「登録制で括らないで」を「登録制で括れなくとも」に修正してお配りしている。</p>	

会長：

その他に修正意見はあるか。

異議なし

会長：

それでは、資料のとおり会議録を確定する。

議題1 諮問事項に係る答申書（案）について

諮問事項「第3期西東京市地域福祉計画を策定するにあたっての基本的な考え方について

事務局：

答申書（案）の内容について説明

委員：

これまでの審議内容が全て網羅されていると思う。お役所的な文面ではなく、平易な文面で書かれていて、自分たちにとって身近な地域福祉計画であると感じ取れた。

会長：

たしかに国の文書などとは違って堅くなく、読みやすいと感じた。

副会長：

2点ほど意見を述べさせていただく。

1点目として、「1 第3期西東京市地域福祉計画を策定するにあたっての基本的な考え方」の下から7行目にある「さらに重い課題」が何かを明確にした方がよいのではないかと。

2点目として、「2 基本的視点」(3)の「地域力を高めるための方向性を乱すこと」の下から3行目に「自治会・町内会等の地域住民が中心となった組織の活動を充実させ、市民の地域活動に対する意欲を醸成し、活発化させることが必要である」とあるが、地縁組織には、たとえばNPOやボランティアなども含まれるので、それらも加えて文言を強化した方がよいのではないかと。

会長：

具体的な修正案としては、「自治会・町内会及びNPOやボランティアなど目的に沿った組織」ということか。

副会長：

又は「課題に沿った組織」でもよい。

委員：

「自治会・町内会等」とあるので、それらの団体も「等」の中に含まれるという解釈でよいのではないか。

会長：

具体的に併記するのであれば、「等」は取った方がよい。

副会長：

答申書を広く読んでもらうことを想定した場合、西東京市としてNPO等の組織も重視しているということを明文化した方がよいのではないか。

会長：

たしかに、併記した方がよいと思う。

委員：

他にももっと小さなグループがあるので、「等」で括った方が全ての団体を網羅できるのではないか。

会長：

「さらに重い課題」を明確にした方がよいという意見については、具体的に事務局としてイメージしているものはあるか。

事務局：

主に「孤立化」である。

委員：

「孤立」以外にもあるのではないか。もし羅列するのであれば、他の課題も載せるべきである。

委員：

「2 基本的視点」(4)に「孤立する者への対応」とあるが、「ひきこもり」、「とじこもり」のようにあまり具体的に書くと、それに特化することになってしまうので、書くのであれば、色々な問題を書くべきではないか。具体的に書くのか、それとも大まかに書くのか

かについては、議論した方がよい。

委員：

逆に「孤立する者への対応」の部分は要らないのではないか。

委員：

たしかに、これに限ってしまうことになる。孤立するケースは、ひきこもりだけではないので、どこまで細かく書くかが問題である。

委員：

「ひきこもり」と「とじこもり」は、どう違うのか。

委員：

不登校など様々な孤立の問題があると思うが、そういう問題を網羅して書くのか、「希薄だからもっとつながりを持たないといけない」と書くのか、あるいは「さらに掘り起していかないといけない」と書くのかということは、後々影響してくる。

副会長：

たしかに、答申案を読んでいくと、高齢者が前提となっている。今一番大きな課題が、高齢者の問題であることは間違いないが、一方で他の分野の問題もあるので、そこまで具体的に書いてよいものか。誰に向けて発信するのかという問題もあるので、もう少し方向性を整理した方がよいのではないか。

会長：

「2 基本的視点」(5)の下から3行目に「地域福祉計画は、福祉施策に関する基本的な方向性を示すもの」とあるが、全福祉施策の方向性を示しているというのは、言い過ぎではないか。「福祉施策を地域において展開する基本的な方向性を示す」とした方がよいと思う。

「最上位」の解釈の仕方の問題だと思う。「最上位」の意味が、全ての福祉計画に対して基本的な方向性を示すということではなく、福祉施策は分野・課題別にあるが、それらを網羅し、地域において展開する計画として地域福祉計画が「最上位」であるという考え方なのではないか。

委員：

これを基に、児童福祉や障害福祉等の計画があるのではないか。そうすると、この文言でもよいのではないか。

最初の審議会の際の事務局の説明では、地域福祉計画の下に福祉の個別計画があると聞いた記憶がある。それからすると、この計画が基になって、他の福祉個別計画があるのではないか。

○事務局：

「第2期地域福祉計画」にも記載があるとおり、地域福祉計画は、各種保健福祉計画を横断的につなぐ役割を担っているものである。

会長：

特に内容について大幅な訂正がなければ、本日で今回の答申についての審議は終了の予定である。各委員から感想でもよいので発言いただきたい。

委員：

基本的にはこの内容でよいと思うが、何点かわかりにくいところがある。

「2 基本的視点」(5)の「その評価にあたっては、中長期的観点に立ち施策ごとに真の効果を計る適正な手法を確立して行うべきと考える。」とあるが、この文章がわかりにくい。具体的にはどのようなことを言っているのか。

また、「真の効果」については、一般的な計画では数値的目標があっても、地域福祉計画では出てこないということだと思うが、何を基準に評価をするのか。

「適正な手法」も、よく意味がわからない。

委員：

「ひきこもり」と「とじこもり」は、現にある問題だが、なかなか難しい。近所の方に声をかけてもなかなか出てこないし、そもそも声をかけること自体が本当に難しい。

委員：

費用対効果の部分については、私が審議会で意見を言ったところだが、答申書に反映されていてよかった。

委員：

答申案は、今まで審議会で話し合ったことがよくまとめられていると思う。

審議を通して、地域力を高めることが大切だと思っていた。その方法については、自治会の組織の活性化だけではないと思っていたが、先程副会長から同様の意見が出たのでよかった。本来的には、「なぜ自治会から離れていくのか」ということを追求していかないと、この先の見通しが立たないのではないか。

また、「ひきこもり」と「とじこもり」の違いはあるのか。知っている人がいれば、お聞

きしたい。

委員：

全体的にとってもよくまとまっていると思う。

「はじめに」ということで東日本大震災のことが出ているが、震災前後で日本人の考え方や価値観は、大きく変わったと思う。副会長のおっしゃるとおり、自治会・町内会の他にもNPOやボランティア等があり、地域ではそれらの団体を頼りにしている。人々のふれあいや地域のつながりについても書かれていて、嬉しく思う。

委員：

内容について特に異議はない。

一点気になるのは、答申書の書き方として、「はじめに」・「1」・「2」と構成されているが、「1」・「2」・「3」の方がわかりやすすくないか。検討いただきたい。

委員：

地域福祉計画は、全住民向けのものなので、「ひきこもり」などの具体的な問題はあえて入れずに、地域の目標を大まかに1個入れられると、他の計画を立てていくときの指針になっていくのではないか。

副会長：

答申書全体を通して、特に問題のある点はない。

会長：

各委員から発言いただいたところだが、内容については概ね了解という意見だったと思う。

それでは、今後の答申書の細かな文言修正等については、会長に一任ということでよろしいか。

異議なし

それでは、答申書の内容については、今後、会長と事務局で調整させていただく。

議題2 その他

事務局（健康課）：

健康づくり推進プランの進捗状況について説明

事務局：

今後の日程についてお伝えする。

会長及び市長と日程調整の上、8月中に答申させていただく。委員にも日程をお知らせするので、都合がよければお越しいただきたい。

次回の審議会は、2月頃に開催予定で、地域福祉計画のアンケート結果の報告をさせていただく予定である。

なお、答申書については、確定次第、各委員に郵送させていただくということよろしいか。

異議なし

会長：

それでは、本日の会議は、これで終了する。